

平成22年8月13日
原子力安全対策室

志賀原子力発電所1号機 原子炉格納容器内の水の漏えいについて

本日、北陸電力より、定期検査中の志賀1号機において、原子炉圧力容器の耐圧試験の準備のため、原子炉内の水張り作業を行っていたところ、11時35分頃、空気を吸い込むための弁（別紙の真空破壊弁参照）から水が漏えいしていることを発見したとの連絡があった。

漏れた量は770cc、放射能の量は29万ベクレルであった。

北陸電力では、空気を吸い込むための弁の不具合によるものとしているが、原因は今後調査するとしている。

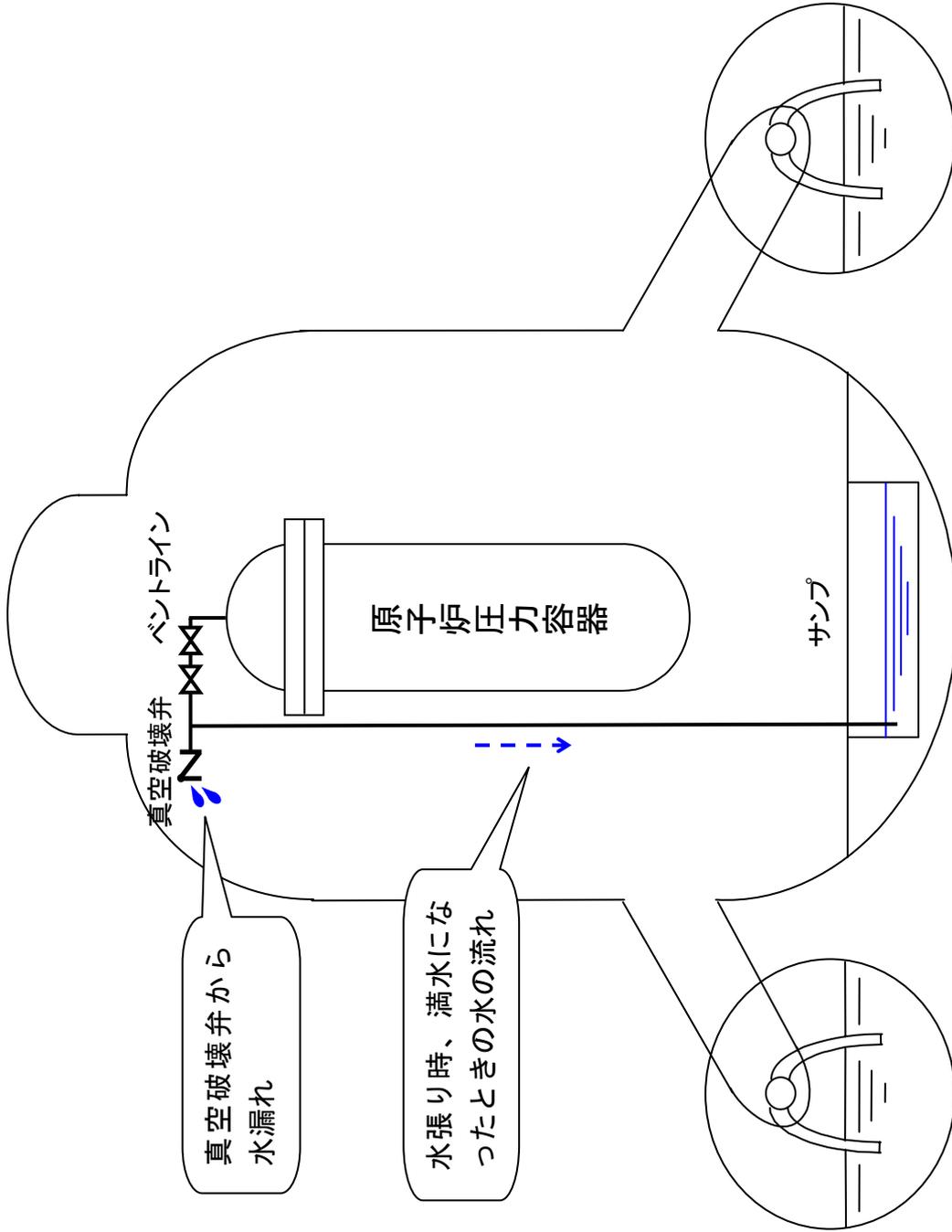
本件については、連絡区分Ⅱ（速やかに連絡）として連絡があったもの。

県（危機管理監室）では、志賀町とともに、立入調査を実施し、外部への影響がないこと、処置が適切に行われていること等を確認した。

なお、本件は、国への報告基準となる370万ベクレル以下であり、格納容器内での漏えいであることから、国への報告事項とはなっていない。

危機管理監室 原子力安全対策室 (直通)076-225-1465 (内線)4234
--

原子炉格納容器



原子炉格納容器内での水漏れ 概要図